



3月1日(土)~3月7日(金)

春季火災予防運動

住宅防火

いのちを守る10のポイント

様々な火災の中でも住宅で発生する火災による死者が多いです
この機会に住宅火災いのちを守る10のポイントを確認しましょう

4つの習慣

寝たばこは絶対に
しない、させない
ようにする。



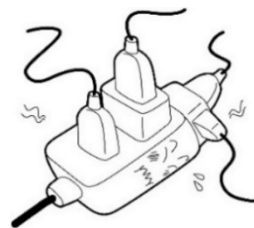
ストーブの周りに
燃えやすいものを
置かない。



コンロから離れる
時は、必ず火を消す。



コンセントは、ほこり
を掃除し、不必要な
プラグは抜く。



6つの対策

安全装置のついたガスコンロ
やストーブ等を使用する。



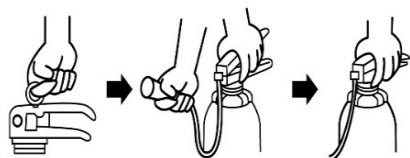
住宅用火災警報器を
定期的に点検する。



部屋を整理整頓し、
寝具やカーテン等は、
防災品を使用する。



消火器を設置し、
使い方を確認する。



避難経路と避難方法を
常に確保し、備えておく。



防火防災訓練へ参加し、
地域ぐるみの防火対策を行う。



着衣着火に注意！

～毎年、全国で約100人の方が亡くなっています～

事例1

3つ口コンロで調理中に奥の鍋を取ろうとしたところ、衣服に火が着いた(30歳代 女性)

事例2

食事の支度中に、エプロンの袖に火が着いた(70歳代 女性)

事例3

仏壇のろうそくに火を着け、供え物の花をかえようとしたところ、ろうそくの火が服に燃え移った。(80歳代 女性)

事例4

野焼きをしていたところ、ガスバーナーの火がズボンに燃え移った。(80歳代 男性)

事例5

公園で手持ち花火をしていたところ、スカートに火が燃え移った。(6歳 女児)

※全国で実際に発生した事故事例です

もし着衣に火が着いてしまったら脱ぐ、たたく、水をかけるなどして早急に消火し、119番通報を行いましょう！

◆消防マメ知識◆

リチウムイオン電池はどう処分するの？

- ▶自治会の粗大ごみ回収時に捨てる
- ▶小野クリーンセンターへ直接持っていく(家庭用に限る)
- ▶販売店等へ引き渡し(回収していないところもあるので、必ず確認してください)

※スマホやモバイルバッテリーの中にあるリチウムイオン電池は、外部から衝撃が加わることで発火する危険性があるため、一般ゴミと一緒に捨てないでください！ゴミ収集車の中で発火する恐れも…。



◆市民の方からのギモン・質問を受付中!!メール、ハガキ等で消防署まで!
【発行元】〒675-1378 小野市王子町 809 小野市消防本部 予防課

